

**期間** 2014年2月18日～3月14日

**場所** 米国ニューヨーク州オルバニー市、ニューヨーク市

**訪問した文書館** ショーンバーグ黒人文化研究センターとニューヨーク市議会図書館（ニューヨーク市）、ニューヨーク州立図書館（オルバニー市）

**内容**

今回の調査の目的は、2012年度に提出した修士論文“Commemorative Street Naming in New York City: A Case Study of Michael Griffith Street”を一本の論文としてまとめ、学術誌に投稿するために必要な資料を収集することであった。本研究は、①市内の黒人に因んだ道や公園の名付けられた時期、立地を徹底的に調査するというものと、②人種主義的暴力の犠牲者を記念した事例である Michael Griffith Street が名付けられた過程を詳細に調査するという二つのアプローチを取っている。それゆえ、調査もこの二つのアプローチを土台に行われた。

まず、市内の黒人に因んだ道や公園の名付けられた時期、立地を明らかにするために、市議会図書館の議事録を1925年から今日に至るまで手に取り、必要な部分をデジタルカメラで撮影した。扱う時代が長く限られた時間での調査ではあったが、2012年に現地調査を行った際よりもたくさんの情報を入手することができた。また、立地を把握しているいくつかの道や公園を実際に訪れ、標識の置かれ方や近隣地域の様子を観察した。写真はその一例である。



つぎに、Michael Griffith Street に関する資料を、ショーンバーグ黒人文化研究センターとニューヨーク州立図書館で収集した。これまで扱ってきた以外の黒人のコミュニティ新聞においても Michael Griffith Street の改名は報道されており、黒人コミュニティのこの道の名付けに関する語りを知る上で重要な記事を手に入れることができた。また、ニューヨーク州立図書館では、Michael Griffith の死亡した事件が起こった地域のコミュニティ新聞である *Queen's Chronicle* を読むことができた。

さいごに、このような機会を可能にくださった「卓越した大学院拠点形成支援補助金」、地域文化研究専攻の先生方、スタッフの方々に深くお礼を申し上げたい。